

きん じょう てん か 錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
6月14日発行 NO. 8
文責 出崎 友英

1点ずつだ！

いよいよ、来週から熊本市中総体(中体連)大会が始まります。各競技の組合せも決定したようです。

また、吹奏楽部や合唱部、放送部も目標としてきたコンクール・コンテストが近づいています。美術部や科学部の皆さんもそれぞれ朝に夕に活発に活動に励んでいます。

それぞれが目標としてきた舞台を前にして、学校全体がとても熱を帯びているように感じます。

今回は、かつて私が中体連大会で経験したエピソードを紹介します。

市中体連サッカー大会の1回戦。試合会場は、自分の学校のグラウンドでした。応援の在校生がグラウンドの周りをギッシリと取り囲んでいて、なんともいえない独特の雰囲気の中でのキックオフになりました。

緊張感に包まれた選手たちの動きはぎこちなく、いつものようなプレイができません。

チームはリズムをつかめないうま、失点を重ねてしまい、前半は0-2で終了しました。➤



ハーフタイム。ベンチに戻ってきた選手たちの表情はさえません。控えの選手たちが、コップに入れた水を渡しています。その時、控え選手の一人がこう言いました。

「1点ずつ取りかえすバイ！」

それは練習中にけがをしてしまい、控えにまわったキャプテンの言葉でした。それを聞いた一人が「なんば言いよつとや。サッカーは1点ずつしか取れんとぞ。あたりまえのことを言うなよ！」と笑いながら、言い返しました。

ベンチのみんながいっせいに笑い声をあげました。

みんなが笑顔になりました。

「そうだよ。1点ずつだよ。1点ずつ。」誰かがまた言いました。そして、みんなが合言葉のように「よし、1点ずつだ。」「1点ずつだ。」と口々に言い出したのです。

後半が始まりました。

ベンチからの応援の声は、ずっと「1点ずつだ！」

「1点ずつだ！」そればかりでした。

結果、後半2-2に追いついて、PK戦でその試合に勝利した我がチームは、その勢いでなんと準決勝まで勝ち進む快進撃をみせたのです。

2点ビハインドのハーフタイム。キャプテンのあの「1点ずつ取りかえすバイ！」の一言が、沈んでいたみんなの心を前向きにして、あきらめないで頑張ろうという雰囲気をつくってくれたのだと、私は思いました。

さあ、君たちの中体連・コンクールがやってきます。どんなドラマが君たちを待っているのでしょうか。

がんばれ！錦ヶ丘中！みんなの健闘を祈ります。

「学校評議員会」がありました。

6月12日(水)、今年度第1回「学校評議員会」を行いました。本校は5人の学校評議員の方々がおられます。

今回は、まず授業の様子を参観いただき、その後校長室で学校の様子や今年度の重点的な取り組み、課題などについて説明をし、意見交換を行いました。そして生徒会執行部の代表の生徒たちと給食を食べながら、生徒たちに温かい励ましの言葉をかけていただきました。学校評議員の皆様、ご来校いただきありがとうございました。



◆お知らせです。

○6月8日(土)、9日(日)は、多くの部活動で大会などがありました。そのうちのいくつかをお知らせします。

男子バレー部は**県選手権大会**で見事、**優勝**しました。女子バレー部も同じ大会で、**3位**に輝きました。

県陸上選手権大会では、陸上部の2年

●●●●さんが**2年800m**で**優勝**、

共通1500mで**2位**。3年●●●●

くんが**共通800m**で**2位**。1年●●

●●さんが**1年800m**で**3位**など、

好成績をおさめました。

バドミントンの県選手権には、熊本市の代表として、男子シングルスに3年の●●●●くん、●●●●くん、女子ダブルスに3年●●●●さん、●●●●さんペアと●●●●さん、●●●●さんペアが出場し、**各地区代表の強豪と熱戦**を繰り広げました。

吹奏楽部は、県立劇場での「**バンドフェスタ**」に出場し、とても**質の高い演奏**を披露し、大きな拍手をいただきました。部活動、みんなとてもがんばっています！



夢は逃げない。逃げるのは自分だ。

「先生のコトバ集」より